

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ) あかね小噺⑤～⑧

落語歳時記シリーズ



水無月(6月)の落語 「饅頭怖い」

暇をもてあました長屋の若者が数名集まり、それぞれ嫌いなもの、怖いものを言いあっている。「ヘビ」「カエル」「ナメクジ」「ムカデ」「アリ」「馬」と言い合う中にひとり、「いい若い者がくだらないものを怖がるとは情けない。世の中に怖いものなどあるものか」とうそぶく男がいる。他の男が「本当に怖いものはないのか」と聞くと、うそぶいていた男はしぶしぶ「本当はある」と白状する。「では、何が嫌いなのか」とたずねると、「まんじゅう」という。男は「まんじゅうの話をしているだけで気分が悪くなった」と、隣の部屋で寝てしまう。残った男たちは「あいつは気に食わないから、まんじゅう攻めにして脅してやろう」と、まんじゅうをたくさん買いこんでお盆に山盛りし、男の寝ている部屋へ運び込む。目覚めた男はまんじゅうを見て声を上げ、ひどく狼狽してみせながらも、「こんな怖いものは食べて、なくしてしまおう」「うますぎて、怖い」などと言ってまんじゅうを全部食べてしまう。一部始終をのぞいて見ていた男たちは、男にだまされていたことに気付く。怒った男たちが男をなじり、「お前が本当に怖いものは何だ!」と聞くと、「このへんで、渋いお茶が一杯怖い」と答える。(落ち)



■ 二つ目 (小咄の稽古)

小ばなしの話し方の基本
④仕草(しぐさ)を入れる

この後皆さまの「小ばなし」披露

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「時計」「雨」

次回は2026年7月6日(月)

次回のなぞかけのお題は「うなぎ」「汗」